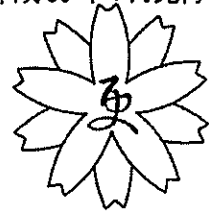


掛川地区 更女会だより

第94号 更女だより

大東支部担当

平成30年1月発行



『新年にあたって』

会長 渥美 敏子

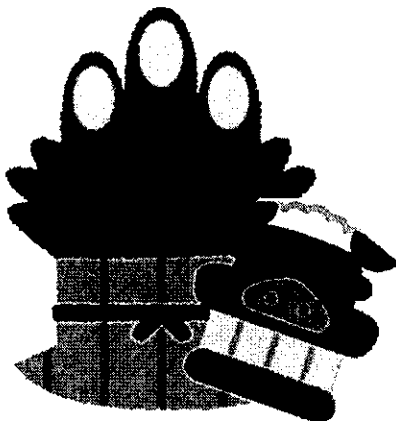
皆様方におかれましては、穏やかな新年を迎えられた事とお喜び申し上げます。

昨年は会長という事もあって、ほとんどの事業に参加し、器の無さで不本意の場面も多々ありましたが、皆様の温かい御支援に支えられて今日まで参りました。誠にありがとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。

昨年の出来事で、今も心に残っている映像があります。シオーネで開催された文化祭に小学生の合唱がありました。前列で歌っていた男の子。指揮をとる先生の指先を一心に目で追いながら、両手を後ろに回し、両足を踏ん張って微動だにしないで自分の全てを投げ出して歌っていました。今を真剣に生きている姿に感動さえ覚えました。

私たちは、この愛くるしい子ども達の将来が確かなものであるために、今活動しているのだと思いました。

彼等の長い人生、非行や犯罪に巻き込まれる事のないよう明るい社会であってほしいと願わずにはられません。



今年度もあと数ヶ月となりました。私たちの活動を一人でも多くの方に知っていただき、新会員の加入を図りたいと思います。全員で明るい社会づくりに向けて頑張ってください。

皆様の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

目次

- P1 新年にあたって
(会長 渥美 敏子)
- P2 県更女連盟結成 55 周年記念大会
に参加して
(掛川支部 中山 富美江)
- P2 栃木刑務所 (女子) の
視察研修に参加して
(大東支部 栗田 登子)
- P3 西部ブロック研修会に参加して
(大須賀支部 林 鈴木 大石)
- P3 平成 29 年度静岡県更正保護大会
～ 受賞報告 ～
- P4 掛川支部活動報告
ミニ集會に参加して
(掛川支部 鈴木 康子)
はじめよう！
小さな一歩は笑顔から
(掛川支部 八重樫 隆子)
- P5 大須賀支部活動報告
販売品の作成
(大須賀支部 林 千余)
「e～らふるさと in 大須賀」
に参加して
(大須賀支部 進士 久恵)
- P6 大東支部活動報告

掛川市福祉課

掛川市長谷 1-1-1

TEL:21-1140 FAX:21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujiyo.com/>

会長 渥美 敏子

TEL:74-2220

『県更生保護女性連盟結成 55 周年記念大会に参加して』

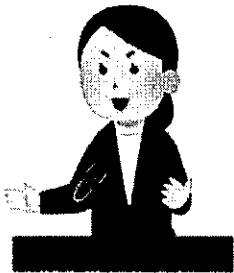
～心に残る講演をお聞きして～

掛川支部 中山 富美江

昨年 10 月 3 日 清水文化会館マリナートに於いて、静岡県更生保護女性連盟結成 55 周年記念大会が開催されました。

会員年数の多い方も出席をと要請され、掛川地区会長当時の種々の行事を思い出し、懐かしく胸躍る思いで参加させて頂きました。

当日の日程の中で、記念講演をしてくださった日本更生保護女性連盟会長千葉景子様のお話、「未来への遺産～私たちが編む地域の子カラ～」でした。お話はとても心に響くものがありました。



40年近く前に婦人会員は、即、更生保護婦人会員として入会しました。その間の思い出はつきることなく脳裏に浮かんでまいります。

合併前、三地区のそれぞれの活動に理事として参加いたした時など、多くの事を学ばせて頂きました。最近では冠講座等今までにない新しい活動も定着しており、また、各支部交代で会の責任を持ち回る制度なども、大勢の方々が更女のやさしさやいつくしむ心を培う機会として、大変良いことだと思っています。

県会長堀様の式辞の中でやさしさとしなやかな心で…と言うお話がありましたが、この心に掛川会員の人たちは添うことができると信じております。

これら様々の活動は地域独自のものとして地域の子カラであり遺産ではないでしょうか？ 今後も新しい活動を取り入れ掛川地域の子カラを生み出し、遺産として残し地域社会に貢献できる更女として発展して行かれることを願っています。

『栃木刑務所（女子）の視察研修に参加して』

大東支部 栗田 登子

11月29日～30日、更女会から12人が、保護司の先生方と御一緒に栃木刑務所の視察研修に参加させていただきました。

部屋に通され刑務所の説明を聞きました。全国に女子受刑者を収容する刑務所は11ヶ所あるそうですが、その中でも栃木刑務所は最大の施設だそうです。明治39年より女子受刑者を収容開始以来現代にいたっているとの事。定員655名のところ、今は659名が収容されています（内、外国人が168名）。又、受刑者の年齢は20代～50代が多く罪名は、覚せい剤と窃盗などで刑期は2年～3年が多いようでした。

刑務所の中では出所後の為の受刑者の更生、社会復帰を目指して職業訓練の様子も少し見ることも出来ました。技能習得に美容科、縫製の仕事

どがあり、たずさわる職員のご苦労に頭がさがります。静かな環境の中の施設内を見学していくと、あちこちにさりげなくアレンジメント風にお花が生けてあり、心が和むひとときでした。さすが女子刑務所だと思いました。

各部屋はもちろん隅々まできれいに整理整頓されて女らしさがうかがえました。

刑務所を後にしながら、一人でも多く、一日も早く更正し、暖かな家庭へ帰ってください。二度とこの門をくぐることを祈りました。

10月22日の矯正展、台風21号による激しい風雨の中、17名が参加しました。

敷地内に咲く更女会の花がとても素敵でした。

『西部ブロック研修会に参加して』

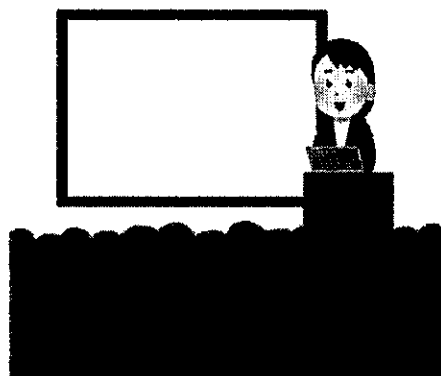
大須賀支部 林 千余、鈴木 睦子、大石 幸恵

10月11日、県の一番西に位置した湖西市での開催。JR新所原駅に初めて降りました。改札口を出ると、キンモクセイの甘い香りと、湖西市の皆さんの笑顔の出迎えを受け、さわやかな気分で会場に着くことが出来ました。

県保護観察所の岸所長さんの基調講演。

女子少年院に勤めていた時に、「桜の花がこんなにきれいだったことを初めて知った」という、15歳の少女がいた事を、桜の花を見るたびに思い出そうです。

「少年院で出会う子は、家族との温かなふれあいを知らずに育った子が多い。子どもの頃の家族との温かい関わりが大切であり、読書を多くした子は、解決する力が大きい。」と、体験の力の重要性を話されました。又、最近、世の中も高齢化しているが、受刑者の高齢化も急速に進展しており、再犯が深刻な問題になっているとの事でした。



「活動をひろげる」と題したパネルディスカッションでは、3地区の活動発表がありました。

【湖西地区】

総会後に出席者全員で「愛の鈴作り」をし、市内の全小学校の一年生にプレゼントを実施。

【森地区】

小中学校に出向き、おはぎ作りをし、児童・生徒と交流。

チューリップの球根を、近隣・知人に販売して活動資金に充当。

【浜松南地区】

保・幼・児童養護施設に出向き、手作りおやつを届けたり、ふれあい遊びに参加。等

午後は、「パネルディスカッションから得たもの」と題してグループ討議。

各地区の参加者から、活動上の問題点や課題等、更に詳しく伺うことが出来て大変興味深く刺激を受けました。

大須賀支部の集会として、「秋の夜のひととき、みんなでおしゃべりを楽しみながら、廃品回収のひもカバーや、ネックウォーマー作り」をして、交流を深める事が出来たことを紹介させていただきました。

今後は、新しく得た情報を生かして、支部の活動がより豊かな活動に広がるように皆さんと共に考えていきたいと改めて思いました。

『平成29年度 静岡県更正保護大会』

～ 受賞報告 ～

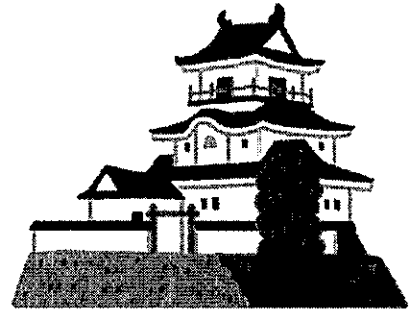
11月22日、磐田市民文化会館にて、静岡県更正保護大会が開催され、当地区更女会から5名が表彰されました

【関東地方更正保護女性連盟会長表彰】

・戸塚 久美子 ・渥美 敏子

【静岡保護観察所長感謝状】

・大石 克子 ・木下 艶子 ・近藤 正子



『ミニ集会に参加して』

掛川支部 鈴木 康子

9月21日倉真「時ノ寿の森」の見学と掛川城周辺の歴史散策をしました。

「時ノ寿の森」の小川にはいろいろな生物が住み森には明るい光がさしこんでいました。

今では事務所、いこいの家が建てられており山や道が整備されていました。その整備には松浦さん夫婦がたずさわり、その仕事を見ていた周りの人達も協力しきれいな山や道が出来上がっていった事を聞きました。

この豊かな森で子どもから大人まで幅広い年齢層の方々が楽しく過ごすことで、より自然の良さを感じることでしょう。大勢の人達が来ることを願います。

次に訪れた掛川城周辺の散策では、ボランティアの安藤さんのお話を聞きながら歩きました。地元に住んでいながら今まで見て回った事はありませんでした。行った先々、しっかり手入れされていてびっくりしました。

知らなかった事が数多くあり、より深く知ることが出来、参加して良かったです。



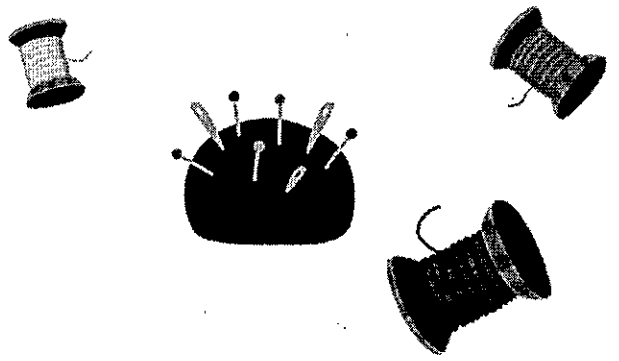
『はじめよう！ちいさな一歩は笑顔から』 ～ 第13回「掛川市ふれあい広場」に参加して～

掛川支部 八重樫隆子

掛川地区更生保護女性会では、活動紹介をパネル展示と啓発資料などを配付し、自主製品として廃油で作った「手作り石鹸」の他に、今年はゴキブリ退治の「ホウ酸団子」を販売しました。ホウ酸団子を売るには時期的に少し遅かったのですが、心配しましたが、午前中に完売しました。ちょっとしたオマケなども付けてあげたりしました。

お天気は余り良くなかったですが、沢山の来場者があり、クイズラリーの場所でもありましたので大勢のお客さんに寄っていただきました。





『販売品の作製』

～ e～らふるさと in 大須賀にあたり～

大須賀支部 林 千余

11月5日、e～らふるさと in 大須賀に更正保護女性会で、手作り品を販売することになっていました。今年は、何にしようか。私は悩んでいました。

大須賀理事会で、伊藤さんに教えて頂いて、会員の皆様に御協力していただいたらと云う事に決まりました。一品目は、紙紐カバー。スルスル出やすく保存が出来るもの。二品目は、ネックウォーマー。眠っている大判スカーフ等を使って、両方手縫いで出来るので、「裁縫道具を持って出席ください」と、会員さんにお知らせしました。

「二日間、夜、2～3時間」掛川支部、大東支部にも協力をお願いし、一夜で24人も出席していただきました。

カバーの生地をドーナツ型に裁断し、手縫いする人、ネックウォーマーの型を裁断する人、皆さん一生懸命縫って下さいました。紐カバーの中に入れる段ボールを切る人、布にボンドを付けて貼る人、紐を通す人、家で作って来てくださる人、おかげさまで両方沢山できました。

そのほかにも小物袋、キーホルダー等沢山できました。

その後も手作り品を沢山届けて下さいました。本当に感謝申し上げます。

『「e～らふるさと in 大須賀」に参加して』

大須賀支部 進士 久恵

11月5日(日)「平成29年度e～らふるさと in 大須賀」が開催されました。

私たち、更女会は夜会員が集まり、先輩の指導の元、「ネックウォーマー」や「紙ひもカバー」を作りました。

当日は私たちの作ったネックウォーマー、紙ひもカバー、その他にも、会員の作ったお地蔵様、小物袋、巾着袋、ハスの飾り、手ぬぐいで作ったちょい被り、干支の犬など、机に沢山並べられてお客さんが楽しんで見てくれました。

見たお客様に更女会のパンフレットや9月発行の更女会だより等で活動のPRもできました。

心のこもった手作り品は、人気であつという間に完売しました。

初めての参加で、更女会活動って何だろうと思っていましたが、「e～らおおすか」の参加や先輩の活動の話聞く内に人の輪の大切さに気づかされました。

今後の活動に少しでもお役に立てれば幸いです。

と、ともに更正保護女性会のPRの必要性を感じ機会のある事に紹介して行きたいと思いました。



大東地区

10月25日、支部活動千浜子育て支援センター
託児。絵本講座が開催されました。

何年ぶりに託児をさせていただきましたが、ママと離れた時点で知らない顔の私たちを見ると、大きな声で泣き出し、一時はどうして良いかわからなくなり困りました。

ママが戻ってくるとにっこり笑顔が出てくれ安心しました。

子どもは泣いてもかわいい。笑ってもかわいい。寝顔もとてもかわいかったです。 都築

「ママ」と泣いて、ママの姿を探す子、かわいいなぁと思います。ママが戻ってくるとニコッと笑う。何とも言えません。

子育て、大変だけど、その時を大切にがんばって欲しいなぁと思います。 鷲山



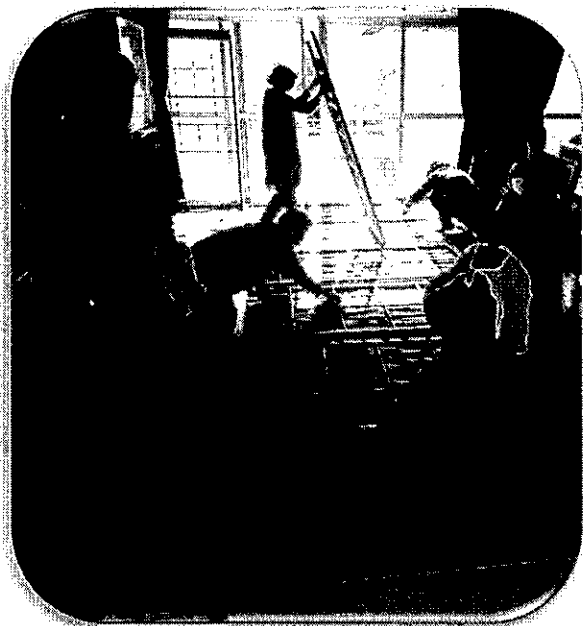
常にママと一緒に子どもたち。親の顔が見えなくなり、一人が泣き出すとつられて次の子ども…子どもは泣いて当然とはいえかわいそう。この時は、抱っこもおもちゃもだめ。

1時間足らずお預かりしてママの顔が見えた時、顔色が全く違います。

(親元にお返しした時の安堵感。何とも言えません。)

どの子どもも少子高齢化の今、将来を背負ってもらう大切な子どもたち。少しでも子育て支援に協力しようと思っています。 大橋

12月20日、支部活動小笠の里障子貼り。
職員の皆さんに、私たちの手際の良さを感じられ、とても嬉しかったです。
障子が変わり大変明るくなったため、新年を気持ち良く迎えられると、とても喜ばれました。



- 編集後記 -

「活動に参加することは難しくなりましたが、更女だよりを楽しみにしています」と、お声を頂きました。

原稿をお寄せいただいた皆様、有難うございました。 (大東支部)